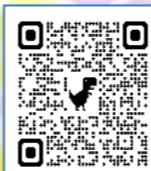


はなみずき

令和7年1月号
高志の郷デイサービスセンター
<http://www.fukuhoukai.jp/>



新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはご家族ともどもご健勝のこととお喜び申し上げます。
昨年は正月早々能登半島地震、羽田での航空機事故が相次ぎ多難な年を予想させました。その後も世界的な異常気象により世界各地で洪水による多大な被害が生じました。政治的にもトランプ再選、各国の政権交代、韓国大統領の暴走、ヨーロッパでは極右化など不安定な世界情勢が醸成されつつあります。日本でも与野党が逆転し政治的に混乱しそうな様相を呈しております。与野党の勢力伯仲で野党寄りの政策も実行され、今まで報われることが少なかった介護医療の世界が改善に向かってくれれば幸いと考えております。

コロナも昨年からようやく落ち着きつつあり、医療も介護も地に足のついた活動ができるようになってまいりましたが、急激な物価高により各分野での経営負担が大きくなってきているように思われます。また人材不足に悩まされている業種では、与野党の逆転により、103万円の壁も変更されるのではと期待しているところです。しかしながら石破首相は2020年代のうちに時給1500円以上を達成することを目標に掲げていますが、これが達成されてもまた新しい壁が出現し、介護医療の現場でのマンパワー不足が顕在化していくのではとの不安があります。

介護、医療、行政、地域社会が協力し合う地域包括ケアシステムが有効に働く体制が徐々に培われつつありますが、まだ不十分と考える方々も多いのではと思います。またアドバンスケアプランニング※もまだ道半ばのようで、地域包括ケアシステムと一部相反するアドバンスケアプランニングをどう関連づけ、より有効な関係に持っていくかが今後の課題ではと考えております。鳳鳴苑、高志の郷もこの二つの課題に取り組む中高齢者の皆様が安全で安心な老後が送れるように尽力していきたいと考えております。今年もどうかよろしくお願いたします。

※アドバンスケアプランニングとは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて本人を主体にご家族や親しい人、医療、ケアチームが繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みを言います

社会福祉法人 福鳳会理事長 林 治朗



年明けはお正月らしいレクリエーションで楽しんでいただきました！

1月誕生日のご利用者様

大島 耀子様	五十里 礼子様
坂井 照子様	高川 年男様
滝谷 義雄様	鍋谷 正三様

★おめでとうございます★

1月の行事予定

- ・新年会
- ・カレンダー制作
- ・壁画制作

※予定は変更になる事があります

クリスマス会

12月の行事は『クリスマス会』。ペアになってプレゼントをソリに運ぶゲームを行い、たくさんのプレゼントが積み込まれました。最後にサンタさんから利用者の皆様にタオルのプレゼントがありました。



制作活動

新たな1年の幕開けに向けて、『達磨』の吊るし飾りと『お正月』のカレンダー制作を行いました。縁起物の達磨が皆様をあたたく見守っております。

